



校長先生からの挑戦状

(ちょうせんじょう)



山中伸也



ワーガリ・マータイ



マララ・ユスフザイ



見えない力を
みつけること
エジソン



学ぶ？！



入学式・始業式から、1ヶ月半が過ぎました。家庭訪問期間、校外学習、おはよう週間を経て、新しい学年・クラスにも慣れ、学習に集中できる時期にもなりました。そこで、26日(金)の朝会では、「学ぶ!？」ということをテーマに講話をしました。

はじめに、「校長先生からの挑戦状」として、重ねたハンカチを私が二本の指でつまんで、子どもの代表に両手で引っ張ってもらって、引き離すことができるか、公開実験をしました。6年生の力自慢の児童がみんなの声援を得て対決に臨んでくれました。私は指に超能力(!!*)をかけて対決しました。結果は、還暦前の私の二本の指の勝利。理由は、ハンカチの「まさつ力」でした。

そんな理科実験から、学びについて、様々な偉人の言葉や業績を紹介しました。アインシュタインは「学びとは…見えない力を見つけること」と言っています。2000回以上も失敗して、電球の性能を高めた発明王エジソン。人類の様々な病気を治す可能性を持つIPS細胞をつくった山中さん。「もったいない」という物を大切にするという日本の言葉・考え方を世界中に広めた、ワーガリ・マータイさん。女性や子どももが、学ぶことの意義と意味を世界に問題提起したマララ・ユスフザイさん。「学ぶ」とは!？一人ひとりの子どもたちは、どのように考えてくれたのでしょうか？

5年生からの贈り物！ 図書24冊のプレゼント

5年生が4年生の時、「お菓子とわたし作文コンテスト」に、学年のみんなで応募しました。そして、全国326校の中から、特別学校賞を受賞しました。賞品として、図書券5万円が贈られました。5年生（当時4年生）は、その図書券で、班で1冊ずつ購入したい本を選び、「ちりめんモンスターをさがせ」をはじめ、24冊の本を学校に寄贈してくれました。現在、貸し出しできるよう図書ボランティアの方に、バーコード等の登録をしてもらっています。間もなく、貸し出しできます。5年生の皆さんありがとう！大切に使います。



教育委員会の学校訪問から考える



5月23日（火）東野教育長、栗崎教育委員、田中教育委員の3名の教育委員の皆様と松原市教育委員会事務局の方々総勢12名で、学校視察に来られました。整理整頓の教室環境、けじめのついた活気ある授業態度、タブレット等の機器の活用など、お褒めの言葉を沢山いただきました。子どもたちも、いつも以上に頑張っていました。

心理学の有名な学説に「ホーソン効果」というものがあります。工場の作業効率を上げるのに、給料や照明などの物理的条件や職場環境の改善、そして、労働者への評価と期待感などの心理的な環境改善で、最も効果のあったのが「期待感や注目」といった心理的な環境の改善だと言われている心理学の学説です。学校が授業参観などの機会を持っているのも、非常に意味のあることだと思います。

我が家も、お客さんが来る時、慌てて片付けたりしますが、そんな可愛い見栄（^O^）も大切だと思います。

今週の木曜日は、本校で校長会議があります。その折も、教育委員会、市内校長先生の参観があります。（本日です）



昨年度のアジアリサイクルの果実から、子どもたちに人気の図鑑10冊を購入し、子どもたちが図書室で読めるようにしました。地道な地域に根付いた取り組み。「もったいない」の日本の素晴らしい考え方が、アジアの人と繋がり、子どもの学びにも繋がっていきます。大切に使っていきます。

編集後記：早寝について

5月中旬体調を崩した。すぐに医者にかかり、薬ももらった。4日分処方された。微熱と喉の痛みは、4日ほどで治まったが、咳はなかなか治らなかった。原因は、二、三日遅い日が続いたことか？早起き・朝ごはんは、できているが、早寝がなかなか難しい。標語の順番も、早寝・早起き・朝ごはんである。歳も考え、「早寝」を意識しようと思う。